

南の風

—第6号—

いつの間にか、季節はすっかり秋模様となってきました。読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋…、いろいろな秋がある中で、本校では、文化祭が行われました。新型コロナウイルスの感染拡大のため、実施の可否や観客の有無など、直前まではっきり決まらない中で準備を進めて参りましたが、小中学部では、何とか保護者の方にご参観いただいて文化祭を実施することができ、嬉しく思います。ご参観いただきました保護者の皆様、ご協力いただきました関係者の皆様、ありがとうございます。重心部門では、現在部屋ごとに「重心文化祭」を行っています。次号で特集します。

病弱教育を考える

自分らしい学び方・生き方～中学部の取組み～

「生徒たちが社会の創り手となっていくため、自分らしい学び方や生き方について考えを深める」ことを目指して、授業や学校生活において様々な活動をしています。

○自分らしい学び方○

中学部では現在33名の生徒が学んでいます。教室登校やベッドサイド授業、また、一日の授業時間も治療や本人の状況により様々です。教室での一斉授業では、自分の考えを深める前に、先へ進んでしまうことがあるかもしれません。でも、教員と一対一であれば自分のペースで考え、質問もしやすいということがあるかもしれません。また、一日の授業時数が少なめだと、集中して取り組むことができ、達成感をより味わうことができると気づく生徒もいるかもしれません。自分に合った学び方に気づき、今後の進路に活かすことができます。

○自分らしい生き方○

「入院治療と学習の両立期間」が終わると元の生活に戻ります。中には服薬や通院など「治療しながら」元の生活に戻る生徒もいます。今後、自分が社会の創り手として、どのように役割を担っていくかを考える時期でもあります。それは、これからどんな勉強をしたいかどんな職業に就きたいかを考えることでもあり、そのためには何をしなければならないのか自分と向き合うことになります。

国語の授業では、ある出来事に対してどう考えるのか、意見交換する機会を毎時間設定しています。多様な意見を聴くことで、自分の考えを深めることにつながります。体育の卓球では、互いのプレイを見て、どうすれば相手が打ちやすいボールが打てるかを考えます。「ラリーを続けること」を授業の目標にすることで、人と協力することに視点を持っていくことができます。音楽では、文化祭で発表した曲作りをしました。自分の思いを相手に伝えるためには、どんな言葉とメロディーにしようか、何度も何度も練り直し「いい曲を作りたい」という思いが強くなりました。

「この授業何の役に立つのかな」私も中学生時代思ったものです。きっとその答えは、自分に合った学び方を知り、自分らしい生き方を見つけるためではないでしょうか。知識や技能、対話の仕方、課題に取り組む姿勢を身に付けることは、1時間1時間の積み重ねであると思います。いろんな方法や進む道があつていい。時間のかけ方も人それぞれ。生徒たちが自分と人を大切に、互いを尊重しながら中学校生活を送れるようにサポートしていきたいです。

文化祭 10月15日

今年度の文化祭は、一堂に会することはできませんでしたが、小・中学部の教室を体育館とオンラインでつないで行いました。スローガン「スマイル スマイル！～マスクで顔が見えなくても、みんな笑顔であってほしい～」を掲げ、小・中学部は授業で取り組んできたことを生かした演目をそれぞれ発表し、重心部門は、スローガンの飾りつけや授業で制作した玉ねぎ染めの展示をしました。

小学部では、1組が「オキナワダンス」「紅蓮華」2曲のダンスを発表しました。夏休み前に曲を選び、9月から練習に入りました。「紅蓮華」では、ヒップホップとエイサーの2種類からそれぞれダンスを選びました。元気に踊る楽しい「オキナワダンス」と、指先まで気持ちを込めて真剣な表情で踊る、カッコいい「紅蓮華」の2曲で、子どもたちは違った表情を見せてくれました。2組は、朗読劇「スイミー」を動画で発表しました。ペープサートや背景を作ったり、朗読の練習をしたりして準備してきました。どの発表も、子どもたちの一生懸命さが伝わってきて、見ている人の胸を打つものでした。頑張りを保護者の方にも見ていただけて、子どもたちはとても嬉しそうでした。



中学部では、SDGsをテーマとして、より良い社会を考え、調べ、感じたことを歌詞とメロディにのせ、「未来への詩」として音楽作品の制作と発表を行いました。9月から制作をはじめ、楽曲が完成したのは本番の4日前でした。一人ひとりが創意工夫をして、曲や歌詞のイメージに合うメロディやリズムを考えて作曲する姿に、中学生らしい姿を見ることができました。本番の発表では、直前まで緊張していた生徒が、緊張を感じさせない表情で立派な発表をしてくれました。楽曲制作や保護者の方の前で発表する経験を通して、たくさんの学びがあった文化祭でした。

スローガンの決定やプログラム作り、当日のアナウンスも児童生徒が行い、皆で協力して作り上げた文化祭は、学校行事の大切さを改めて感じさせてくれました。

また、重心部門では、10月21日(木)から11月5日(金)まで、「重心文化祭」として、日頃の学習の成果を部屋ごとに発表しています。

11月行事予定

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 4日 重心文化祭(重心部門 すみれ1部屋) | 10日 健康教育「薬」(小学部2組) |
| 5日 重心文化祭(重心部門 すみれ2部屋) | 17日～19日 2学期期末試験(中学部) |
| 健康教育「食育」(小学部1～4年) | 19日～24日 高等部入学者選抜受付 |
| 9日～12日 高等部入学者選抜願書配付 | |